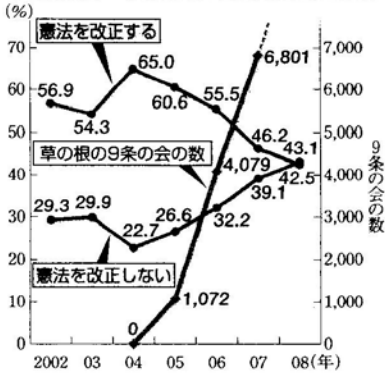
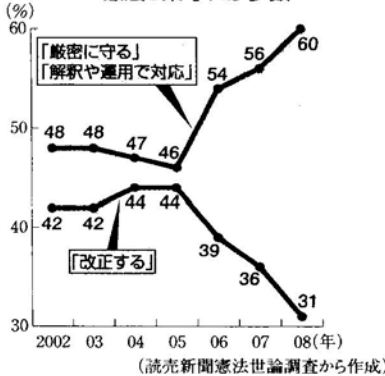


憲法改定への賛否と「9条の会」結成数



憲法9条守れが多数



(読売新聞憲法世論調査から作成)

# 「改憲反対」が15年ぶりに上回る

## 「読売」世論調査

# 「9条守れ」6割に

読売新聞が、九八年から実施している面接方式の「憲法世論調査」で、「憲法改正」反対が賛成を十五年ぶりに上回った。同紙が日付の報道で明らかにしました。「今の憲法を改正しない方がよい」と思う人は43・1％で昨年調査より4・0％増、「改正する方がよい」は42・5％で同3・7％減でした。

同紙調査では、九条については改定反対が一貫して多数でしたが、憲法全体については九三年から改定賛成が反対を上回り、二〇〇四年には賛成65・0％と最高を記録していました。しかし、同年に「九条の会」が結成され、翌年からは四年連続で改憲反対が増加しています。民主支持層では昨年同様賛成が過半数割れし50・2％と過半数でした。九条については「これまで通り、解釈や運用で対応する」と「九条を厳格に守り、解釈や運用では対応しない」のいずれも増加し、あわせて60・1％に。「九条を改正する」は30・7％で5％も減少、九条改定反対が圧倒していることを示しています。本来一体である九条を二項、二項に分離して改定の賛成を問う

た設問でも「改正する必要がない」が一項で81・6％、「読売」調査の転換点は二〇〇四年です。この年の六月に「九条の会」が結成され、全国で草の根の「会」が結成されていくとほぼ並行して九条改定反対が増加し、賛成派との差は年々拡大しています。そして今回、憲法改定そのものの反対も賛成を十五年ぶりに上回りました。草の

### 川村 俊夫 さんの話

#### 草の根の運動の力

根の運動の力です。草の根の運動が広がったのは、改憲の中身がたんに自衛隊を含まず、武力行使恒久法についても、海外での武力行使も可能にする中身を知らせていくことが大事です。だからこそ、「九条の会」を小学校区単位で結成するなど、憲法を守る生かす草の根の取り組みをすすめて、職場・地域・学園で世論を動かしていくことが大事になっていきます。

結果について「憲法改正に相の突然の退陣」などに原因を求めています。

改憲派も草の根の運動の重要性に気づきつつあります。「新憲法制定議員同盟」は「九条の会」に対抗する国民運動を提